

年 組 名前：

## 世界大会に出走の ソーラーカー展示

甲府で工学院大チーム

ソーラーカーの世界大会に出場した工学院大のソーラーチームは7日、JR甲府駅北口アシストエンジニアリングよっちゃばれ広場で、車両の展示と試走をした。

工学院大後援会山梨支部が企画し、チームの教員や学生が訪れた。展示したのは大会に出場した車両「CYGNUS」で全長約5メートル、重さ約200キロ。車体に取り付けられたソーラーパネルで電気を発



広場を走行するソーラーカー＝JR甲府駅北口アシストエンジニアリングよっちゃばれ広場



QRコードから動画を見られます

電して動き、最高速度は時速150キロほどだという。試走を見た甲斐・敷島北小2年の植松水希さんは「初めてソーラーカーを見た。とても速くてかっこよかった」と話した。

甲府市藤村記念館では、8月にオーストラリアで開かれた世界大会「プリチストン・ワールド・ソーラー・チャレンジ」の報告会が開かれた。3キロを走破する大会で、チームは13位だった。顧問の浜根洋人教授は「工学院大は企業などに頼らず、学生が全て設計して世界大会に挑んでいる」と説明した。〈望月優真〉

(2025 年 12 月 8 日付 山梨日日新聞 16 面)

問1 工学院大のソーラーチームが展示したソーラーカーが、出場した世界大会名を教えてください。

.....

問2 展示のソーラーカーの最高速度を教えてください。

.....

問3 ソーラーカーは、普通の車と比較して、どのような点が良いと、あなたは思いますか。

.....

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2025 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.